

ヴェリタスII $\alpha \cdot \beta$ テーマ発表 ルーブリック

基準 (点数)	思考・判断・表現 (質疑応答)	主体的に学習に取り組む態度 (発表態度) 発表時間：4分，質疑応答：4分	知識・技能 (スライド作成)
A ⁺ (4点)	(A)の基準を満たした上で、科学的な質問に対して適切に答えることができた。	(A)の基準を満たした上で、より聴衆を意識し、非常に聞き取りやすい発表をすることができた。(声量，視線，姿勢等)	(A)の基準を満たした上で、より統一感のあるスライドに仕上がっている。※アクセントカラー，文字の大きさや色(背景色，文字の基準色，メインの色，強調の色の4色が目安)，明度，彩度等，意識的に統一して(聴衆に思いやりのある)スライドを作ることができた。
A (3点)	・質問に対して適切に答えることができた(科学的な質問以外でも可能)	(B)の基準を満たした上で、以下のことが守られている。 ・指示棒やポインタを適切に使用した(スライドの右側に立った場合は左手を使う等) ・スライドに重ならない等，聴衆を意識して発表することができた ・発表時間が規定時間の±1分以内で発表することができた	(B)の基準を満たした上で、以下のことが守られている。 ・フォントをそれぞれ統一している ・スライド番号をスライド右下に記載している(4/5や3/6等) ・図，表の記載方法が適切である(写真やグラフを写真1，グラフ1は×。図1，図2というように表す) ・背景，先行研究，仮説，実験方法(計画も含む)，データ処理方法が記載されている
B (2点)	以下のいずれかが該当する。 ・科学的な質問に対して曖昧な回答になってしまった ・質問に対して，即座の対応ができなかった(質問された際，班員で相談し始めた等)	・発表の際，班員全員がほぼ均等に発表した ・発表時間が規定時間の±1以内ではなかった	以下のことがすべて守られている。 ・1枚のスライドに1つの意味のみが表されている(背景と先行研究を同じ1枚に書く，といったように，2つ以上の意味があったら×) ・文字の大きさが適切である
C (1点)	・質問の意図を十分に理解できておらず，適切な回答をすることができなかった	・メモを見て発表した	以下のいずれかが該当する。 ・(B)が守られていない ・アニメーションを入れている ・提出日を過ぎたが2日以内である。 ・提出方法(形式等)が違う

ヴェリタスⅡ $\alpha \cdot \beta$ テーマ発表 ルーブリック

C ⁻ (0点)	・不参加	・不参加	・不参加
------------------------	------	------	------

※スライドにおけるフォントの指定は特にないが、不適切なものもあるので、不安な場合は研究計画書のルーブリックの表1を用いるとよい。

※発表の際、班員の1人でもメモ（スマホ等も含む）を見たら、全員が「C」となる。

※欠席者については、後日一人で発表するか、発表の日を入れ替えることで対応可能。ただし、できないこともあるので、基本的には休まないこと。

※教員は評価のため時間を測っているが、発表時間の目安のベル等は教員側からはないので、班員で時間は見ておくこと。

※先行研究やその他において、アニメーションや動画が必要な場合は可能。ただし、担当教員が不要と判断した場合は「C」となるのでよく考えること。

※PDF形式（評価用）とスライド形式（発表用）の2種類を、班の代表者が提出すること（クラス発表の際はPDF形式を用いてもよい）。